

市長公約「子どもの未来を守る」ことについて



深澤 正夫 議員



**質問**…学校経営システムを構築するための具体的な取組について伺います。

**答弁**…国の基準では、一学年で平均二学級が確保出来ない小学校は小規模校となり、市内小学校19校中、15校が該当しています。全国的に進む少子化は本市においても例外ではありません。市内小中学校の児童生徒数減少は明らかで、複式学級も増

加傾向にあります。小規模校だからといって、教育環境が十分であると思っていません。また、小規模な小学校であっても、

できる限り、存続させたいという思いがあります。小学校は、地域コミュニティのシンボリックな存在であるとともに、地域活力の拠点となる大きな柱として重要な役割を担っていると考えているからです。学校は、子ども

もたちにとって大切な教育の場であり、社会性や人間力を成長させる場であることも承知しています。そして、その効果を高めるためには、ある程度の規模、集団の形成も必要であると考えています。その環境を構築する方策の一つとして、本市では、平成11年度に小規模特任教員制度

を設けています。

一般質問



菊地 英樹 議員



行政のデジタルサービスについて

**質問**…本市における地方自治体や企業が主体となった特定エリアでのローカル5Gネットワーク計画について、どのような考えなのか伺います。

**答弁**…第3次大田原市地域ICT総合推進計画の取組項目である5Gを軸としたインフラ再構築の調査については、地域への情報提供の推進をするために、広域的な5Gネットワークの利

活用を想定したもので、現在も継続して調査中です。ローカル5Gネットワークは、専用の機器を使用して、限定された範囲での利活用に使われ、主に工場や建設現場、農業において、

機械の遠隔操作などに有効活用されているもので、携帯電話会社が整備する5Gネットワークとは周波数が異なるため、一般的に購入できるスマートフォン

では利用することができません。他の自治体の取組事例も、現時点では自動運転などの実証実験の範囲となっています。本市においても、今年度策定を予定している第4次大田原市地域ICT総合推進計画に5G通信の項目を盛り込み、引き続き調査研究をしてまいりたいと考えています。

です。

太陽光発電事業終了  
後の太陽光パネルの  
廃棄について



齋藤 光浩 議員



一般質問



中川 雅之 議員



大田原屋台まつり  
について

**質問**…太陽光パネルには埋立処分など適さない鉛、カドミウム、ヒ素などの有害物質が含まれ、成分によって処理の仕方が変わると言われています。適切な処分、処理ができるよう、国、県と連携を取りながら研究、指導をいただけないか、本市の考えを伺います。

レン、カドミウム等の有害物質が含まれているものもあるため、産業廃棄物として指定され、処理されるべきものです。適正処理が可能な業者に処分を依頼することが必要となります。また、リユース、リサイクルが可能な太陽光パネルについては、環境省が公表している太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン、こちらに基づ

き適切に処理するよう指導したいと考えています。また、環境省が太陽光パネルのリサイクルを義務化する検討に入ったというような報道も聞いています。今後情報収集をするとともに、国や県と連携して、発電事業者に適切な処理、処分を周知し、指導していきたいと考えています。

**質問**…令和4年度3月議会の前市長答弁について伺います。

**答弁**…屋台まつりの予算350万円から50万円に削減した理由

について前市長は、コロナ感染症が収束した所までいかない中、行政は危険性があるものに対し、予算を制御し、中間でコロナ感染症が収まり、祭りが出来る状況になった時には、補正措置でも出来るとし、早く感染症を止

める、それが一番の政治的役割と思ひ、職員の皆様とも相談した結果であると答弁しました。

**質問**…私も予算審査・分科会委員長の立場でコロナ拡大の状況調査を行いました。小中学校では、学校・学年・学級閉鎖、保

育園や幼稚園では休園で、卒業式や入学式も行われるのか心配されている状況、高齢者施設や介護施設ではクラスターが多く

発生、医師会の方々からは、今のままでは医療崩壊にも繋がるとし、祭りの実施は止めてほしいと切実な声が非常に多くありました。市長として、早めの対応が必要と思ひが伺います。

**答弁**…感染拡大は防いでいかなければならない。県の指針を厳守し、基本的な事項をしっかりと守り開催していただきたいと考えています。